

2015年8月27日

横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 - 9月号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: y2aobada@edu.city.yokohama.jp

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

今年の夏はとっても暑い日がずっと続き体調はいかがだったですか？ 夏休みは昨日まででした。休み前に、お願いしていたことは守れましたか？ ①それは何か忘れた？ ②知っていたけど無理だった？ ③しっかりできた？

それは「基本的生活を基本崩さない」ことでした。いかがでしたか？

このお便りが届く日は2学期始業式の後です。いよいよ、2学期。体育祭にはじまり、文化発表会、合唱コンクールと目白押しで、皆さんが準備してきた（これから準備に励む）盛り上がりの行事が続きます。今年も皆さんが待ちに待っているものです。しっかりと、集中して取り組んでください。クラスごとに目標を決め全員で結集して進めましょう。このままさっと、秋にはならず、涼しい日があるかと思うと、まだ暑い日は続きます。まず体調管理をしっかりとやってください。そしてみんなで熱く燃えましょう。また、2学期は他にも読書、部活、それから学業、など。どれをとっても大切なもので、どれもしっかりと・・・いつもの合言葉：「ケジメと集中」で進めてください。3年生は自分の進路を真面目に考えてください！ 皆と夏休み前に約束した、「基本的生活を崩さない」ことは2学期になっても継続する約束事項です。しっかりと意識して実現してほしいと思います。

今月は オーストラリア訪問 で感じたことです。たぶん数回になるとと思いますが。

みなさんもお存じのように、7月21日から31日まで、博報財団の【世界の子ども日本語ネットワーク推進事業】の海外体験部分のプログラムに参加してきました。教員は各クラスに子どもたちと同様に参加することができ、僕も実際にいろんな授業を受けました。数学、歴史、日本語、保健、体育、公民、音楽などを子ども達と一緒に受けました。その短い間だけで触れた(かじった)時間だけで、それが正解だと言うつもりは全くないですが、受けた印象を書きます。外国人が通常意見をどんどん述べるスタイルを持っているという原点の教育を見た気がしました。

シドニーとヒューオンビル(タスマニア)では、都市の規模とその都市の背景が違うため、同様と一概に言えませんでした。後者では隣接で職業訓練校(成人も参加のできるスキルを身に付けることもできる)で、日本でいう農業・工業高校のような授業もやっていました。だから一概に、ステレオタイプの同じパターンの授業を提供していないようです。タスマニアではそのまま成人しその地で職に就く人をもしっかりと育てており、全員大学をとということもなさそうです。それは、オーストラリアの人は、「ゆとりある、自分を活かせる生活を送るのが至上であると考えている」人が多く、基本思想が、あくせく勉強し、あくせく働かないという思想を持った人が多そうだということが大きく左右するのでしょうか。まず1クラスの人数は25-35人ぐらいが基本。各人は選択的にクラスを選んでいるが、1クラスはその程度の人数で構成されていました。質問すると基本40人超えは考えられないという返答をもらいました。

こういう前提ですが、どの授業も、一方通行の教えるタイプの授業はなかった。数学ですら、問題を解きながら個人の意見を発表させて数式を解いていく。歴史においては、昔イギリスが囚人を使って、豪州を開発させたことについて、考えさせ、自分の意見を述べさせながら、先生が事実を導いていく、というスタイルでした。保健では、健康雑誌を各人に配付し、そこに書いてある健康を増進するための記事または広告について、自分が違う意見を持つとすれば、それを確認する質問状を、その雑誌の編集長に書くという課題。僕が望むストリートスマートを育成するためのパターンの授業ばかりでした。青葉台中の授業にもそれに似た授業も多いので良かったと思いましたが、もっと多くしていかないとだめだと思いました。世界に出て行かなければならない時代に、やはり自分のアイデンティティを身に付け考える力をつける教育をすることが大切です。自分の考えを持ち、それをしっかりと人に伝えることができ、人の言うことを聞く耳をもつ。このような力が身に着く。目指すべき姿ではないでしょうか？

数回に渡り、今回の訪問で思ったことなどを引き続き書きます。今月書いておきたいもう一つ驚いたことがあります。それは全員がPCを授業に持ち込んで、その教科書はPC上にあり、ノートもPCにとっている。(後ろから見て、授業中ゲームをしていた生徒も1人いましたが。) 参加した生徒の一人が、こういうノートのとり方で、日本の成績の評価の1つであるノート提出はどうしてやるのだろうか？とっていました。ほんとに。。。？

○このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。さーどうしましょうか？

H26 年度版の文部科学白書から「学校の基本数字：クラスの生徒人数、先生 1 人の受け持ち生徒数」などについて「文科省の調査結果」について書きます。以前日本の 1 学級の生徒定数についてかいたことありますが、上にも書いたように今回オーストラリアに行って教育現場を見て再度以下のことに触れたいとなりました。

学級規模の基準の国際比較

| | 学校種 | 学級編制基準 |
|-------------------------------|-------------------------------------|---|
| アメリカ (ケンタッキー州の場合) | 初等・中等学校 ※初等学校、中等学校の在学年数は州によって異なる | (上限) 就学前教育～第 3 学年 24 人 第 4 学年 28 人 第 5～6 学年 29 人 第 7～12 学年 31 人 |
| イギリス | 初等学校 中等学校 | 第 1～2 学年 30 人 (上限) 第 3～6 学年 なし |
| フランス | 小学校 中等学校 | なし (学級編制基準は大学区視学官 (県レベルの国民教育省の先機関) が毎年決定することされており、全国的な編制基準は設けられていない) なし (学級編制は各校の権限とされており、全国的な編制基準は設けられていない) |
| ドイツ (ノルトライン・ヴェストファーレン州の場合) | 初等教育 中等教育 ハウプトシューレ ギムナジウム | (標準) (範囲) 第 1～4 学年 24 人 18～30 人 第 5～10 学年 24 人 18～30 人 第 10～11 学年 28 人 26～30 人 |
| 日本 | 小学校 中学校 高校 | 40 人 (上限) ※小学校 1 年生に関しては 35 人 40 人 (上限) 40 人 (標準) |

1 クラスの生徒の構成人員が 40 人は多い！ということ、文科省もこのデータのように、きちんと世界の状況としてつかんでいます。そして次回の学習指導要領の変更時に基本として持ち込む考え方を「21 世紀型能力」として、学力の 3 要素を【課題を解決するため】の資質・能力という視点で再構成しています。そしてこの能力は、外国で考えている能力と一致しています。「生きる力」をより実効性のあるものとしてとらえ、どう発揮していくのかという方向性を示唆することになると言われています。それは自己教育力を育て、国際社会を生きる日本人の育成を目指すことを示しているそうです。が、先生の数を増やすとか、1 クラスの生徒数を減らすなどの話はない。これらを旧態然とした仕組みでやれということか？と思います。どう考えればいいのでしょうか？

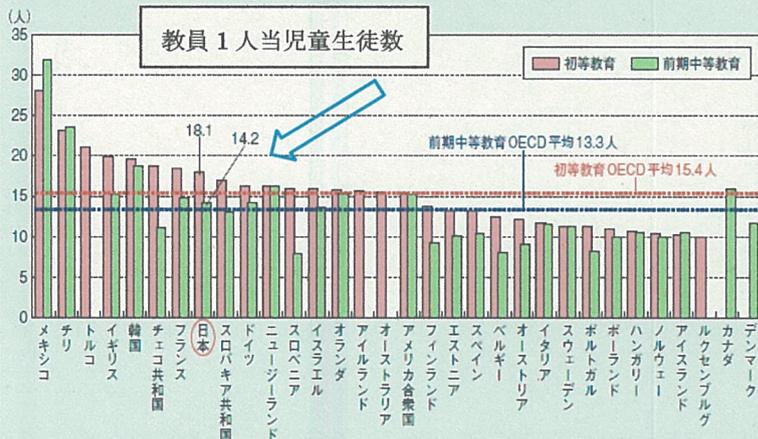
H25 年度国の標準を超える学級編成を実施している都道府県

| 学年区分 | 30人 | 31～34人 | 35人 | 36～39人 | 実施に応じて実施 | 合計 |
|----------|-----|--------|-----|--------|----------|----|
| 小学校 1 学年 | 14 | 3 | 0 | 0 | 6 | 20 |
| 2 学年 | 12 | 3 | 35 | 0 | 7 | 47 |
| 3 学年 | 2 | 3 | 21 | 2 | 6 | 32 |
| 4 学年 | 2 | 2 | 18 | 2 | 6 | 28 |
| 5 学年 | 1 | 2 | 12 | 3 | 6 | 23 |
| 6 学年 | 1 | 2 | 11 | 3 | 6 | 22 |
| 中学校 1 学年 | 5 | 3 | 30 | 0 | 6 | 41 |
| 2 学年 | 1 | 3 | 13 | 1 | 6 | 24 |
| 3 学年 | 0 | 3 | 12 | 1 | 6 | 22 |
| 合計 | 15 | 6 | 42 | 3 | 8 | 47 |

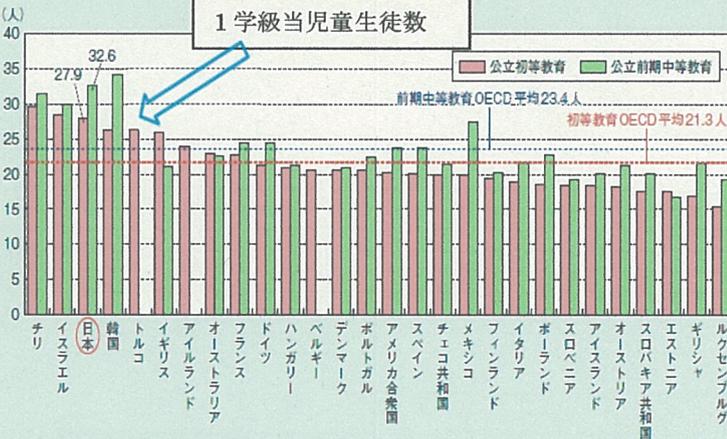
公立学校の学級編制と教職員定数の状況

| | 第 1 次 S34～S38 [5 年計画] | 第 2 次 S39～S43 [5 年計画] | 第 3 次 S44～S48 [5 年計画] | 第 4 次 S49～S53 [5 年計画] | 第 5 次 S55～H3 [12 年計画] | 第 6 次 H5～H12 [6～8 年計画] | 第 7 次 H13～H17 [5 年計画] |
|---------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 改善の内容 | 学級編制及び教職員定数の標準の明定 | 45 人学級の実施及び関連学校教職員の定数化等 | 4 個学年以上複式学級の解消等 | 3 個学年複式学級の解消及び初級・学校卒業教職員の定数化等 | 40 人学級の実施等 | 指導方法の改善のための定数配準等 | 少人数による授業、教職・業務数値の役割配準の拡充等 |
| 公立小中学校の学級編制標準 | 50 人 | 45 人 | | | 40 人 | | |
| 改善増 | 34,000 人 | 61,683 人 | 28,532 人 | 24,378 人 | 79,380 人 | 30,400 人 | 26,900 人 |
| 自然増減 | △18,000 人 | △77,960 人 | △11,801 人 | 38,610 人 | △57,932 人 | △78,600 人 | △26,900 人 |
| 差引計 | 16,000 人 | △16,277 人 | 16,731 人 | 62,988 人 | 21,448 人 | △48,200 人 | 0 人 |

日本の国公立学校での教員 1 人当り児童生徒数は、初等教育 18.1 人、前期中等教育 14.2 人であり、OECD 平均を上回る。



国公立学校での平均学級規模は、初等教育 27.9 人、前期中等教育 32.6 人であり、OECD 平均を上回り、最も高い国の一つ。



○ 学校閉庁日を 8 月 12-14 日に行いました。

教育委員会の方針に従い、今年は本校では、8 月 12 日から 14 日にかけて学校の閉庁日を設定させていただきました。この間、日直もおかないため、電話をいただいても留守番電話としてお受けすることになりました。ご不便をおかけいたしました。いかがだったでしょうか？ご意見などお持ちの方は、お知らせください。

○ 横浜子ども会議 実施！

青葉区では、7月1日、青葉区役所で開催されました。今年は「ネットの使い方」というテーマでもしっかりと話し合いが持たれました。そして台風の影響が心配されましたが予定通り8月24日に、横浜全体での子ども会議が開催されました。全校からの児童生徒があつまり、自分たちの学校生活の向上について議論しました。これを通じて子ども自身が、仲間を大切に、またインターネットの正しい使い方を認識してもらい、ともに楽しい学校を作っていこうという気持ちを自覚してもらいたいと思っています。

○ 学力・学習状況調査の結果が発表されました。

4月に実施しました本年度の学状の結果が8月26日発表されました。3年生には個別票を速やかにお渡しいたします。全体の様子などに関しましては分析ができ次第、お知らせいたします。本校の結果と言えることは、今年も例年同様 県・全国の平均より、10-20%の高い率を示しています。みんなが一生懸命に勉強に励む生活を送っているのだと思います。更にこの傾向を維持またはもっと改善できるように学校、家庭で努力していきましょう。

○ 海外児童日本体験プログラムで、オーストラリアを訪問してきました。

7月21日から本校からの代表として以下の8名で、シドニーの Fort Street High School、タスマニア Huonville High School に行ってきました。現地では生徒たちはホームステイも行い、授業に実際に参加、またバスケットボールなどを行い、どっぷり現地の生活に浸ってきました。口々に「とてもできない体験を実際に経験しこれを将来に活かせるように頑張っていきたい」と言っておりました。文化発表会で、現地で行ったまとめの発表を整理して学校内でも共有する予定です。(敬称略) 引率教員：西尾かをる、脇山幸之 2年； 岩元悠大、長野拓生、山下智輝、松浦実春、渡邊芽依、 3年； 川口隆人、新妻久実、谷亀亜沙美

*** 部活動などで頑張る生徒たち(敬称略)**

ぜいたくなうれしい悩みです。始業式後の表彰式がとても賑わっております。夏休みで皆が力を出してくれて本当にうれしいです。おめでとうございます。新学年での活動が2学期はたくさんあります。皆で精一杯やりましょう、そして応援しましょう！

+陸上競技部

| | | | | |
|----------------|-----------------|-----|---------|-------------|
| 第21回青葉区民陸上競技大会 | 中学女子 共通 200m | 第1位 | 28秒60 | 池崎 真佳 |
| | 中学女子 2・3年 800m | 第3位 | 2分39秒48 | 潮 八重加 |
| | 中学男子 2・3年 1500m | 第3位 | 4分55秒28 | 池永 海 |
| 青葉区中学校陸上競技大会 | 男子共通 400m | 第2位 | 56秒72 | 堀 隼人 |
| | 男子共通 110mH | 第3位 | 18秒28 | 小倉 寛太 |
| | 女子低学年 4X100mR | 第3位 | 1分00秒29 | 村澤、石川、山下、松田 |

+野球部

青葉区中学校夏季野球大会 優勝

+サッカー一部

横浜市中学校総合体育大会 サッカーの部 準優勝
 神奈川県中学校総合体育大会 サッカーの部 第3位

+水泳(部)

横浜市中学校総合体育大会 水泳の部 200m個人メドレー 8位入賞 野々村 千洋
 横浜市中学校総合体育大会 水泳の部 平泳ぎ100m 第1位 高下 千代
 神奈川県中学校総合体育大会 水泳の部 平泳ぎ100m 第7位 高下 千代

+吹奏楽部

第16回横浜吹奏楽コンクール 中学校部門B 銀賞

+美術部

第1回こども絵画ビエンナーレ(笠間日動美術館) 優秀賞 藤咲 佳奈

+英語スピーチコンテスト 高円宮杯神奈川県スピーチコンテスト 横浜ブロック大会A グループ

6位以内入賞 本田 彩夏

+英語スピーチコンテスト 横浜市立中学校総合文化祭 予選：通過、本選：第6位 渡邊 悟

+よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 市大会本選 第6位 前田 里奈子

*** 生徒会の活動**

*近づいてきた体育祭、文化発表会、合唱コンクールに向け心をひとつに進めていきます。

体育祭のスローガン： 闘志なき者は去れ～30回目の本気モード～

文化発表会のスローガン： 瞬彩～この瞬間、全てを輝かせ～

*選挙管理委員が活動を開始しました。8月28日に公示がなされ、新生徒会の準備が始まります。活動重点テーマはここ数年取組んできている「無効票ゼロ～公平な選挙の実現」です。真剣に考えて自分たちの代表を選びましょう。

***PTA、部活動振興会 の活動 スローガン：青中に行こう！知ろう！楽しもう！子どもの笑顔のために！**

PTA： 桜台夏祭り、青葉台2丁目祭りなど連続で夏祭りが実施され、皆さんで大変なご協力を頂戴し、盛大に有意義に終了しました。誠にありがとうございました。2学期の学校は体育祭、文化発表会、合唱コンクール、PTAでも高校説明会、講習会等次々と行事があります。各種活動がより有意義になるようにみんなで力をあわせて努力していきましょう！+

部活動振興会：夏の大会が行われ、どの試合にも部振の理事の方をはじめとして多くの保護者の方々にも応援に来ていただきました。選手たちは力を出し切って試合を行っていました。ありがとうございます。特にサッカーではその甲斐もあり、市で準優勝、県で3位になれました、すごい躍進でした。どの試合も真剣な選手たち、それ以上に気合の入った応援をする人たちにあられました。とてもありがたいことでした。お疲れ様。そして新チームで今後のさらなる飛躍を目指してやっていきましょう。